学校番号	3023

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	『新詳　世界史Ｂ』　（帝国書院）						
副教材等	「最新世界史図説　タペストリー　十九訂版」（帝国書院） 「大学入学共通テストへの道　世界史」（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。　・世界史を大きな枠組みで捉え、各地域を比較する。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

2　学習の到達目標

・世界の歴史の大きな枠組みと展開を理解できる。
・諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら，世界史の事項を説明できる。
・文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察できる。
・ 歴史的思考力を培い，国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関する諸資料を収集し、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら、読み取ったり、図表などにまとめたりしている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	提出物 授業発表など	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	世界史への扉	「自然環境と人類のかかわり」 「日本の歴史と世界の歴史のつながり」 「日常生活にみる世界の歴史」	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○	a:それぞれの主題に対し，意欲的に取り組もうとしている。 b:教科書の問いかけに対し，自ら考えつつ，教科書の文章や，グラフ・絵・地図から適切な解答を見つけて発表できる。 c:グラフや絵・地図などから適切な内容を読み取ることができる。 d:それぞれの主題が設定された理由を考え，理解することができる。	提出物 授業発表等
	人類の出現	人類の出現 農耕・牧畜の始まり 文明の誕生	○ ○ ○	 ○ ○	○	○ ○ ○	a:人類の出現と進化の過程，並びに生産経済の開始に伴う大きな変化に関心をもち，追究している。 b:生産経済の成立と，国家組織の成立につながる過程を考察し，表現している。 c:人類の進化や移動を，グラフや地図から読み取ることができる。 d:　人類の出現と進化，農耕・牧畜の開始とそれに伴う人類の生活，並びに歴史上の変化について理解している。	定期考査 提出物 授業発表等
	オリエント世界と地中海世界の形成	・オリエント世界の形成 ・地中海世界の形成とオリエントとの融合 ・ローマと地中海世界の成長 ・ローマ帝国周辺の西アジアとアフリカ	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:　オリエント・地中海両世界とそれをまとめあげたヘレニズムおよびローマについて関心をもち，追究している。 b:　オリエント世界と地中海世界の風土・社会・政治・文化・宗教について比較し，その共通点と相違点を示すことができる。 c:　地図などの各種資料を活用して，各地域における特色と相違点を把握できる。 d:　オリエント・地中海両文明の特色を理解している。	定期考査 提出物 授業発表等
	アジア世界の形成	・南アジア世界の形成 ・東南アジア世界の形成 ・中華文明の形成 ・秦漢帝国と東アジア ・中央ユーラシアの風土と遊牧帝国の出現 ・1～2 世紀　本格化する東西交流	 ○	 ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○	a:アジア世界が多様性に富むことに興味をもち，追究している。 b:アジア世界の多様性を，民族・風土・宗教などの視点をふまえつつ総合的に考察している。 c:各種資料や地図を用いて，民族の移動や東西交易を把握できる。 d:アジア世界の風土・政治・社会・文化について総合的に理解している。	定期考査 提出物 授業発表等

前期	アジア世界の変動と再編	・古代遊牧帝国の興亡とユーラシアの変動 ・ユーラシアの変動と東アジア世界 ・東アジア諸地域の成長と自立 ・イスラーム文明の誕生 ・イスラーム世界の拡大 日本の歴史と世界の歴史のつながり①	○ ○	 ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○	a:遊牧民が活発化する中で、アジアが変動し、中国などの帝国から各地域の自立化していくことに関心を持つ。 b:遊牧民が活発化する中で、アジアが変動し、各地域の自立化していくことを理解し，考察できている。 c:各種資料や地図を用いて，各地域の自立化やそれぞれの地域交流が活発化したことを把握できる。 d:遊牧民が活発化する中で、アジアが変動し、中国などの帝国から各地域の自立化していくことを理解する。	定期考査 提出物 授業発表等
	ヨーロッパ世界の形成	・地中海北方へ広がるキリスト教 ・西ヨーロッパの成長と拡大 ・封建社会の解体と王権の伸長	○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a: ゲルマン人とスラヴ人の移動，イスラームの地中海進出，ビザンツ帝国の動向がヨーロッパ世界の形成につながったことに関心をもてる。 b: ヨーロッパにおける地域差を比較し，その共通点と相違点を考察できる。 c:地図などの各種資料を活用しヨーロッパ世界の形成と変容のようすを把握できる。 d:ヨーロッパ社会の形成を封建社会の成立と変容，教皇権と皇帝権や王権との対決などの観点から総合的にとらえることができている。	定期考査 提出物 授業発表等
	アジア諸地域の栄華と成熟	・ユーラシア帝国の出現 ・明の国際秩序と東・東南アジア ・世界帝国清とアジア諸国の成熟 ・イスラーム世界の成熟 日本の歴史と世界の歴史のつながり② 日本の歴史と世界の歴史のつながり③	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:アジア各地で独自の文明を成熟させたことに関心をもち，追究している。 b:交易の活性化の関係・外交や内政のあり方を比較考察し，表現できる。 c:地図を用いて，ユーラシア大陸の内陸交易と海上交易が一体化したことを指摘できる。 d:アジア各地で独自の文明を成熟とユーラシアが一体化したことで，ユーラシア規模で人の交流やものの流通が起こったことを理解している。	定期考査 提出物 授業発表等

前期	大規模な分業体制の成立	・大航海時代～世界の一体化の始まり ・ルネサンスと宗教改革 ・スペインの盛衰とオランダの覇権	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○	a：「大航海」・ルネサンス・宗教改革がヨーロッパに変革をもたらすとともに「世界の一体化」が始まり，新たな時代が展開されていったことに関心をもち，追究している。 b：「大航海」により始まった西欧中心の世界の一体化が「垂直的分業」をもたらし，現代の南北問題の起点にもなったという点を考察し，表現できる。 c：主権国家・重商主義などの言葉を、概念図などを用いて表現できる。 d：近代世界システムの概念を理解するとともに，ヨーロッパ内部では，主権国家体制が形成されていったことを理解している。南北アメリカ大陸の風土と諸文明について理解している。	定期考査 提出物 授業発表等
	ヨーロッパ諸国の主権強化と大西洋三角貿易	・広がる主権国家体制と17世紀の危機 ・プロイセン・オーストリア・ロシアの台頭 ・イギリスとフランスの覇権争いと大西洋三角貿易	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○	a：ヨーロッパ各国それぞれの変革と，主権国家体制について関心をもち，追究している。 b：各国の変革と近代的な国際関係の成立を理解する。また，英仏の覇権争いがなぜ世界各地に及ぶものであったのかを考察し，表現できる。 c：地図や図表を利用して，ヨーロッパの国境の変化や，英仏の世界規模での覇権争いなどを指摘できる。 d：ヨーロッパ各国が状況に応じた変革を行っていく中で近代的な国際関係が形成されていったこと，および英仏の覇権争い，大西洋三角貿易について理解している。	定期考査 提出物 授業発表等
後期	環大西洋革命～工業文明と国民国家の誕生	・世界で最初の工業化 ・アメリカの独立 ・フランス革命と国民国家の誕生 ・ラテンアメリカにおける環大西洋革命	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a：産業革命・市民革命の前後で，生活や社会のあり方がどのように変化したかを，さまざまな視点から追究している。 b：産業革命で変化した社会，およびアメリカ独立・フランス革命によって形成された「国民国家」は，従来とはどのような点で異なるのか説明できる。 c：産業革命の展開や国民意識の広がりを，地図や図表などの各種資料を活用して指摘できる。 d：産業革命で変化した社会，およびアメリカ独立・フランス革命によって形成された「国民国家」の関連性を理解できている。	定期考査 提出物 授業発表等

後期	イギリスの覇権と欧米の国民国家建設	・イギリスの覇権と自由主義 ・ヨーロッパに広がる国民国家 ・アメリカ合衆国の拡大と国民統合	○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a：イタリア・ドイツなどヨーロッパ各地で国民国家が形成されていった過程に関心がもてる。 b：イタリアとドイツの統一を例に，国民国家の具体的な形成過程を考察し，表現できる。 c：地図や年表などを用いて，国民国家の形成過程を指摘できる。 d：イギリスの覇権の確立，および欧米各国が国民国家としての体制を整えていく過程を理解している。	定期考査 提出物 授業発表等
	世界の一体化の進展とアジアの変容	・イスラーム諸国の変容と模索 ・南アジア・東南アジアの植民地化と社会変容 ・東アジア諸国の模索と変容 服装から見る日本と中国の西洋化	○	○	○ ○ ○	○ ○ ○	a：アジア各地域の植民地化の過程や改革への模索に関心をもち，追究している。 b：欧米諸国の進出に対するアジア各地域の動きを考察し，表現できている。 c：地図などの各種資料を活用し，欧米諸国の進出にさらされたアジア各地域の状況を指摘できる。 d：欧米諸国の進出に対するアジア各地域の外交・内政について理解するとともに，アジア諸国間の国際関係や経済関係について理解している。	定期考査 提出物 授業発表等
	世界の一体化の完成とその影響	・帝国主義と世界分割競争 ・アジア知識人による体制変革の試み	○ ○	○ ○	○	○ ○	a：帝国主義による世界の一体化が進む中，それにより圧迫されたアジア・アフリカの動きに関心をもち，追究している。 b：植民地支配＝文明化と正当化するヨーロッパの思想を，批判的にとらえることができる。また欧米諸国のアジア進出が，各地域のナショナリズムを高揚させる契機になったことを考察し，表現できる。 c：交通・通信の発達と世界の一体化との関連を，地図などの各種資料を用いて説明できる。 d：欧米諸国が植民地を求めた理由として市場と原料供給地が必要であったこと，植民地化をまぬかれた国では欧米諸国の圧力に対する変革が模索されていたことについて理解している。	定期考査 提出物 授業発表等

後期	世界大戦の時代	・第１次世界大戦と社会主義革命 ・第１次世界大戦とアジアのナショナリズムの展開 ・大衆社会の到来とファシズムの出現 ・第２次世界大戦とその惨禍	○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	a：二つの世界大戦がこれまでとは違う総力戦であることを理解し，追究している。 b：総力戦を支えた社会体制と，総力戦がもたらした影響について考察し，表現できる。 c：写真や映像などの資料を活用して，総力戦の実態やそれがもたらした社会的影響を例示できる。 d：第一次世界大戦と第二次世界大戦とで，「戦勝国」の，戦後処理を視野にいれた終戦までの動向に大きな相違があることを理解している。	定期考査 提出物 授業発表等
	東西冷戦から多極的国際社会へ	・アメリカの覇権と冷戦の展開 ・多極化の始まり ・米ソ二極時代の終焉	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a：戦後世界の画期となった動きや事件に興味・関心をもてる。 b：戦後世界における資本主義陣営と社会主義陣営，第三勢力それぞれの動向を考察し，表現できる。 c：戦後世界の画期となった動きや事件について，各種資料を用いて因果関係を指摘できる。 d：戦後世界の画期となった動きや事件について理解している。	定期考査 提出物 授業発表等
	相互依存を深める世界	・ソ連・東欧社会主義圏解体後の世界 ・グローバル化の動きと世界の変化	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a：地域紛争や新しい形の紛争（テロ），地域統合の進展，新興国の勃興，難民問題や地球環境問題などに関心をもち，追究している。 b：地域紛争，地域統合の進展，新興国の動向，難民問題や地球環境問題などについて考察し，表現できる。 c：新聞の国際面などに報道されているできごとの背景を，教科書の説明を参考にしつつ指摘できる。 d：冷戦後も世界には解決すべきさまざまな問題がある一方で，ヨーロッパやアジアなどでは新たな地域協力の形が模索されていること，反グローバル化の動きもあることを理解している。	定期考査 提出物 授業発表等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。